

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	70 %	自校A B層の割合	60 %

目標達成に向けた取組			
3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 探究的な学習を見据えた授業展開への転換 授業の最後5分間を振り返りの時間に設定 ICTを有効活用し、視覚的に認知し易い授業を展開。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習支援端末アプリ「ミライシード」におけるドリルパークの積極的な活用 漢字コンテスト、計算コンテストを年2回実施 数学単元別検定の実施（1・2年）《CD層へのアプローチ》 放課後補習教室の活用 補習教室支援担当の導入 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習週間の導入（学期に一度） 学習支援端末アプリ「ミライシード」におけるドリルパークの積極的な活用
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査後に授業の内容が理解できているかをノートにて必ず確認する。 授業中に全員が自信をもって答えられる問いを立て、自己肯定感を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> アプリの実施を定期的に確認し、未実施者に声掛けを行う。 放課後再テストの時間を設定し、必ず合格するように促す。 数学単元別検定の不合格者の放課後補習学習の実施《CD層へのアプローチ》 担当員が細目に声掛けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習が実施できているか、ノートなどで確認をする。 アプリの実施を定期的に確認し、未実施者に声掛けを行う。
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒授業評価において、全項目90%以上の満足度を得る。 全国学力調査「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていましたか」肯定的な回答割合 85%以上 	<ul style="list-style-type: none"> アプリの実施率90%以上。 各種コンテスト初回合格率80%以上。 数学単元別検定3級以上に全員合格。《CD層へのアプローチ》 放課後補習教室にて実施する卒業問題で全員合格。 	<ul style="list-style-type: none"> アプリの実施率90%以上。 全国学力調査「授業時間以外の勉強時間」1時間以上の回答割合 90%以上